

■ 事業活動を実現するための施設機能の考え方（案）

1. 展開する事業活動とそのために必要な施設機能の整理

川口市美術館で展開する事業活動に必要な施設機能は下記の通りとなります。

なお、これまでアトリアで実施してきた事業活動を継続・発展させるためにはアトリアの機能は限定されていることから、必要な機能を美術館に設置することで、その事業活動を継承していくことも想定されます。
(例：新鋭作家展など)

		川口市美術館			アトリア	
		事業活動（案）	主な必要諸室（案）	必要となる人材	事業活動	室名
親しむ事業	①収集・保存	・「川口的美」を探る作品などの収集と、適切な環境での保存管理	・収蔵庫 ・収蔵庫前室 ・トラックヤード ・荷解・搬入口	学芸員	—	—
	②調査・研究	・「川口的美」を紡ぐための調査・研究 ・作品に親しみやすい展示手法の研究・開発	・調査研究室 ・書庫	学芸員	・学校連携事業に関する調査・研究	・事務室
	③展示・公開	・「川口的美」を探る作品にいつでも親しめる常設展示 ・「川口的美」を特定のテーマで掘り下げる企画展示 ・感性を刺激する国内外の優れた作品を紹介する企画展示 ・川口の風土に根ざした文化や「ものづくり」をアートの視点から捉え直す企画展示 ・作品への理解を深める展示解説	・常設展示室 ・企画展示室 ・一時保管庫 ・展示準備室 ・展示備品倉庫 ・トラックヤード ・荷解・搬入口	学芸員	・市民などによる美術活動の発表（美術家協会選抜展や「アートな年賀状」展などの市民参加型の企画展） ・学校連携による企画展（アーティスト・イン・スクールの展示・発表や、学校連携による企画展） ・貸しギャラリー事業	・展示室（A・B 各 77.5 m ² ） ・スタジオ（195 m ² ） ・備品倉庫 ・倉庫（2 F） ・搬入口
育む事業	④教育普及	・展示・公開している作品への理解を深める美術講座（講演会、講座、鑑賞教室 等） ・市民の創作活動への支援（創作体験、ワークショップ 等） ・創作工程を見学できる機会（公開制作、アーティスト・イン・レジデンス 等） ・市民とアーティストが交流・連携する機会（共同制作、アートイベント 等） ・「川口的美」を発信する人材育成（ボランティア、アートコミュニケーター 等） ・学校教育機関との連携による、児童・生徒の鑑賞体験や創作体験（作品鑑賞プログラム、移動美術館、出前講座 等）	・講座室 ・ワークショップ・ルーム ・公開スタジオ ・ボランティア室 ・アート・ライブラリー	教育普及担当	・アートに親しむワークショップ（企画展関連ワークショップや、たのしい実技講座） ・アーティスト・イン・スクールの関連事業（アーティスト・トーク） ・企画展に関連したギャラリー・トーク	・スタジオ
創造・発信する事業	⑤創造支援	・「川口的美」を創造する人材育成（実技講座、技術指導 等） ・アーティストと匠の交流・連携による創作活動（共同制作 等）	・オープン・ラボ（創作工房） ・ミュージアム・ショップ	創造支援コーディネーター	—	—
	⑥情報発信	・誰もが気軽に立ち寄り、アートに関する情報に触れる場（ライブラリー機能を備えたカフェ 等） ・市内のアートを広く発信（ホームページ、SNS 等）	・ミュージアム・カフェ ・情報発信コーナー ・デジタルアーカイブ	情報発信担当	—	—

2. 諸室概要 (案)

部門名	室名	概要	必要機能・設備等	備考
A. 収集・保存部門	トラックヤード・搬出入口	・作品や資料の搬出入を行う。	・輸送車両（4 t 希望）が収容できる規模を確保し、作品や資料等の搬出入が安全に行える位置や構造とする。 ・輸送車両の排気ガス処理のための換気設備や、外気の影響を避けるためのシャッターを設置する。 ・虫菌害を防ぐため、飲食物やゴミ等の搬出入口とは明確に区画する。	
	荷解室	・輸送してきた作品や資料の開梱や、発送のための梱包作業を行う。	・梱包資材等の整理・保管や作品や資料等の開梱・梱包作業を行うために十分な広さを備える。	
	収蔵庫前室	・収蔵資料等の点検や、環境に慣らすための温湿度調整を行うスペースとして利用する。	・収蔵庫と同レベルの恒温恒湿空調やガス消火設備、収蔵庫扉を備える。	
	収蔵庫	・収蔵資料や寄託資料を保管する。	・資料保存のため、恒温恒湿空調やガス消火設備、収蔵棚を備える。	
	一時保管庫	・借用資料を一時保管したり、温湿度環境に慣らすためのスペース。	・恒温恒湿空調やガス消火設備、収蔵庫扉を備える。	
B. 調査・研究部門	調査研究室	・調査研究のために作品や資料等を取り扱うスペースとする。	・書庫を併設する。 ・収蔵資料の特別閲覧にも対応できるように、展示室と同レベルの空調機能を備える。	
C. 展示・公開部門	常設展示室	・収蔵資料の展示公開を実施。	・温湿度管理空調やガス消化設備、展示ケース、展示用照明などを設ける。 ・重量物の展示にも対応できる床荷重を確保した展示室も設ける。	
	企画展示室	・収蔵資料と借用資料による企画展示を実施。	・展示ケースや可動壁、展示用照明などを設ける。 ・温湿度管理空調やガス消化設備を備える。	
	展示準備室	・展示に必要な準備作業を行う。	・展示什器や展示備品を保管する。	
D. 教育普及部門	多目的室	・学校団体に向けた鑑賞プログラム、講座、ワークショップ、公開制作を実施する。 ※大規模な上映会はメディアセブン、講演会はリリアと連携し開催	・100 名を収容する講座が開催できる規模を確保する。 ・2 室に分割して利用できるなど、柔軟に利用できる設備を備える。 ・プロジェクターや音響設備など、講座やプログラムなどの開催に必要な設備を設ける。 ・椅子やテーブルなどの収納スペースを設ける。	*前頁「必要な諸室機能(案)」の講座室、公開スタジオ、ワークショップ・ルームの機能を担う。
	ボランティア室	・施設運営をサポートするボランティアの作業スペース。	・ロッカーや作業台などを備える。	
	アート・ライブラリー・カフェ	・カフェでくつろぎながら地域の文化や、美術書、市内のアートに関する情報に触れることができる交流の場。	・厨房設備のほか、ゆったりとくつろげる休憩コーナー、文化財や収蔵資料のデータベースにアクセスできる情報設備やアート・ライブラリー、市内のアート情報発信コーナーなどの機能を備える。	*前頁「必要な諸室機能(案)」のデジタルアーカイブ、アート・ライブラリー、情報発信コーナー、ミュージアム・カフェの機能を担う。
E. 創造支援部門	オープン・ラボ(創作工房)	・作品の公開制作や創作体験を実施。	・手洗い用の水場、工具など創作に必要な道具を備える。	
F. 管理運営部門	館長室	・館長の執務スペース。	・応接機能を備える。	
	事務・学芸員室	・職員の執務スペース。		
	会議室	・職員のミーティングスペース。		
	職員控室 等		・監視員の控室・更衣室、給湯室、警備員室、倉庫などを備える。	
G. 共用	エントランス・ホール		・発券業務や館内案内のほか、ミュージアム・ショップ、トイレ、授乳室、救護室を備える。	
	廊下・エレベーター			
	機械室・電気室			